

逗子第一運動公園アダプトプログラム／植樹地保全作業報告

(株) 研 進 出 縄 貴 史

掲題について、下記の通り、本年度第4回目（累計9回目）の作業を行いましたので報告します。

記

1. 日時：2025年11月7日（金）9：30～12：00（2.50時間）
2. 場所：逗子第一運動公園植樹地（2014年10月、宮脇方式により1,000本の苗木を植樹した場所）及びその外側の通路沿いの植栽地
3. 参加者：研進2名（9:30～：内1名はボランティア）
湘南の風mai!えるしい4名（9:45～）、横須賀ヘーメット6名（10:00～）
湘南の風えいむ4名（10:30～）、合計16名
4. 作業：植樹地周囲の除草、通路側枯れ木（トベラ）の切除
植樹地水路沿い（林縁部、一部植樹地内）の植樹（補植）
5. 植樹した樹種（2～4年生ポット苗）：潜在自然植生種の低木9種類40本
⇒ シャリンバイ、ナンテン、アオキ、ヤツデ、マンリョウ、ハマヒサカキ、シロヤマブキ、ガマズミ、シモツケ（何れも進和学園が栽培した苗木）
6. 提供資材：特に無し



駐車場で苗木に注水
(バケツ内の水に浸ける)



先に着いた湘南の風 mai!えるしい&研進スタッフ
で補植用のポット苗に水をやり植樹地へ運ぶ！



植樹地周囲の雑草を刈り取る横須賀ホームメットの皆さん



奥の民家に隣接する箇所草刈り作業



植樹地外側通路の除草を行う湘南の風えいむメンバー
黄色丸印の蔓性植物（クズ）も除去する！



水路沿いに低木を補植



6月に補植した場所の除草



2

通路側の枯れ木（トベラ）を除去した場所に
ナンテン、シャリンバイ等を補植



枯れ木（トベラ）を切断して植樹地の「しがら」（植樹地内の通路）に利用する



水路沿いの混垣植栽



植樹地内の様子 自然種の広葉樹による森が生長している



11年前に進和学園栽培の苗木を利用して植樹頂いた際の看板が今も立てられている！



時間が20分程余ったので、通路を挟んだ運動場側の除草作業も行った！



近隣の民家より、樹木の枝が越境しているのを切除して欲しいとの要望が逗子市に出されている旨の事前連絡を市の緑政課より受けていたので現場を確認しました。越境している木の枝は、外来種の大木で11年前の植樹より以前から存在していた樹木と思われます。この日、作業開始時に、近隣の住民の方が出て来られ、越境している枝を何とかして欲しいとの相談を受けましたが、樹高が高過ぎて私共では無理であり、市の方で対応頂くことになると思うと回答しています。その後、逗子市緑政課の森様が、立ち寄って下さったので、上記について報告申し上げ、現場も確認頂きました。

左：黄色の○の枝が近隣の民家の敷地に越境している。

立ち寄って下さった逗子市緑政課の森様と交流！



本日の参加者／「どんぐりブラザーズ」の皆さん 逗子市緑政課の森様と！

以上